

令和3年度（第3回）北九州市公共事業評価に関する検討会議 議事録

日 時：令和4年1月28日（金）

13：30～15：00

場 所：北九州国際会議場

3階32会議室

1 事業内容説明について

【事前評価2】小倉北特別支援学校等整備事業

～事業課より資料6に基づき説明～

2 内部評価結果について

～事務局より資料8に基づき説明～

3 質疑応答について

○構成員

前回の事前評価1の時に、この会議でもいくつかの意見を出させていただきましたが、今回の評価内容にきちんと反映していただき、ここでの議論の反映と意見への取組というのが見られたことに関して感謝申し上げます。

まず前回と異なる点としてやはりコロナ禍という、より集団で生活をするような学校、特に特別支援学校というところで基礎疾患とかいうところも抱えたような児童生徒さんが多くおられるのではないかなというふうに予測できるような事態が発生していますので、今ご説明の中にもいろんなところにフレキシブルに対応していただくというようなところで、この教室はこれだけに使うとか、その使用目的以外のところはあまり使わなかったり、あとは教育が進んでいく中でうまく配置転換できなかったようなところがあると思うのですが、それを今回こういうふうに色々フレキシブルに使えるような環境を整備していただくというようなところで、こういったコロナ禍とかです今後はどういう事態が発生していくかはわかりませんが、すぐに対応できるような施設の確保というのができるんじゃないかなというふうに思っています。

それにはソフトというところも伴わないとうまくいかないと思いますので、その担当の課の方とか心の教育に係る教員の方に、いつもこのような問題意識を持っていただくような形で進めていただければいいかなというふうに思っています。

それでまた計画通りにいかないとか計画変更や工事費の増額などいろんなことがあるかと思しますので、計画的にしっかりと進めていただければなというふうに思います。

私からは以上でございます。ありがとうございます。

○座長

コロナのもとでやはり配慮が必要な生徒はおりますのでそのところの配慮をよろしくお願ひしたいと思ひます。施設につきましても、かなりフレキシブルな施設が確保できるんじゃないかというようなコメントだったと思ひます。

それとあと、他の公共事業でもそうですけれども建設費用がかなり上がっている傾向になっておりますので、事業計画の進捗を正確にお願ひしたいなというふうに考えております。

○構成員

今日頂いた内容について特段異論はございません。最終的に建設するときには学校ですから使いやすいものや少し効率のいいデザインにするなどの設計が非常に大事になってくると思います。そういう意味では提案型のプロポーザルとか設計にまだまだいろんな工夫や力を発揮できるような発注の仕方を少し研究していただければと思います。

○座長

発注方法にしては少しご検討をお願いしたいと思います。

○構成員

他の構成員がおっしゃっていたのでそれが全てかなとは思いますが、一番感じたのは事前評価1の時の我々の意見を割とすぐ落とし込んだご提案だったので、聞いていて良かったなと思いました。

設計のところで話がありましたけれども、災害だとか今回みたいにコロナなどの異常事態が続くときに、生徒さんの移動というところを考えると、普通の一般の学生の移動とかとは全く違う動線になるのではないかと思いますので、それを本当に重視していただければありがたいなというふうに思います。

それと太陽光や自然エネルギーを活用したものを、建て替えるときにたくさん導入していただければありがたいなと思います。

それともう一つ、職種の変化をフレキシブルにしていくという話ですけれども、それとともにそれを指導する先生方のスキルを上げないといけないので、そういうような活動というものも必要なのではないかと思います。

○座長

生徒さんの動線については、かなり気を配った設計をお願いしたいと思います。

○構成員

いつからいつまでに ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の検討をして、導入できるかの結論を出すという話は決まっているのでしょうか。例えば管理コストや建設時のコストの部分に関わってくるのではないかと考えますが、いかがでしょうか。

●事業課

来年度、平成4年度に実施設計を行う計画でございますが、この実施設計の時期に合わせる形で、ZEBの導入の可否について今後短期間ではありますが、行って参りたいという予定でございます。

現在、基本設計の仕上げの段階になってきております。この基本設計で明らかとなった条件といたしますか、状況をもとに実施計画につなげていくわけですが、その段階での検討ということをご今後考えて参りたいと思っております。

○座長

私は基本的には視察をしてこれはかなり、老朽化しているということは重々肌身をもって知っておりますので致し方ないだろうというふうに個人的には判断しておりますが、今各構成員の先生方がご指摘されたコメント意見等ですね、まさに適切だったのではないかなというふうに考えております。

私のほうで質問なのですが、こういったこの移転に伴う形で、既存の通われている生徒さんの保護者から通学の変更とかそういったことが発生しますので、それについてはご意見とか特になかったでしょうか。

●事業課

それでは現在、在籍している児童生徒の保護者の方のご意見というところでお話をしたいと思います。昨年度、令和2年度、そして、今年度ですけれども、保護者の方には新型コロナウイルス感染症の状況を考慮に入れた上で、感染症対策に十分配慮しまして対面による説明を行った機会がございました。また、ご意見をいただく機会もございました。

パブリックコメントを含めてということでありますけれども、その中で移転に伴うことでの通学の負担ということで、ご質問をいただく機会もありました。

小倉北特別支援学校につきましては、現在の学校がある下到津四丁目という場所でございますけれども、移転先が下到津一丁目ということでございまして、道路を隔てて徒歩で子ども達の足でも5分から10分程度ってところで、大きな環境の変化がないということで移転先に設定した理由の一つでございます。

一方、北九州中央高等学園につきましては、現在戸畑区の沢見にあり、区を跨ぐというところはございますが、公共交通機関ということで事例を出させていただきますと、北九州中央高等学園から西鉄バスに乗って10分弱ぐらいの距離であるかと思えます。

最寄りのJRの駅ということになるとJR南小倉駅からですが、朝夕の通学の時間体は5分間隔ぐらいで、小倉北特別支援学校と北九州中央高等学園への移転先の最寄りのバス停まで、西鉄のバスが出ております。乗車時間5分から10分程度と、最寄りのJRの駅は変わってしまいますけれども、アクセスについては非常に良い場所に位置しているという認識です。

また、自家用車を使った通学支援ということにつきましても、これは放課後等デイサービスの事業所等も関わりますが、北九州都市高速道路の下到津ランプからも1分以内の場所でございます。

こういったようなところからも、通学に係る児童生徒及びそれを支援する保護者の方等の負担については、大きくはないということをご説明させていただき、理解をいただいているということでございます。

○座長

学習障害等がある生徒さんというのは、通学路が変わってくると途端にこうパニックになるケースもありますので、移転後の最初のその通学とかですね、事業の開始であるとか、その時点はかなり気をつけて運営していただければと思います。

●事業課

今座長から伺いましたご意見について、少しお答えいたしますと、知的障害といいましても、その程度に幅もありますし、今お話いただきました発達障害等重複している児童生徒も、かなりの割合で在籍しているところです。

私どもが、供用開始を予定しておりますのは、令和7年度の4月からではなく年度途中ということでございます。保護者の方に説明を行った際に、年度途中からでは子どもが混乱するのではないですかというようなご意見をいただきました。これにつきましては、通常、学校では年度当初の4月にクラス替えがあり、担任や教室が変わるといった様々な教育環境の変化が、子どもたちに起こるところです。この時期に、学校の場所まで変わるということでは非常に子どもたちへの負担が大きくなるということもありますので、これはあえて意図的に年度途中に長期休みを利用してという形になりますが、移転を考えているということです。

それと、小倉北特別支援学校については発達障害がある児童生徒が多く在籍しているという背景があります。先ほど申し上げましたように、徒歩で5分から10分ということですから、内覧会の時期ぐらいから校外学習という位置付けで、安全に十分に気を付けた上で教師が引率して、学校に子ども達と一緒に出向きまして、「ここが来年みんなの学校になるんだよ。」もし中に入れれば、「ここら辺があなたの教室になるよ。体育館はこんなのだよ。」っていうようなところで、視覚的な教材も併用しながらです

ね、しっかり見通しがもてるように、段階的に支援して参りたいというふうに考えているところです。

○構成員

隣が小倉第一病院になりますが、特別支援学校の生徒さんたちに何かトラブルが起こったり、病的なことが起こったりしたときに、率先して見ていただくというふうな対策を市としては考えてらっしゃるのでしょうか。

●事業課

東芝北九州工場跡地、私どもが計画しておりますのは教育ゾーンですが、医療ゾーンに昨年の11月に移転してこられた小倉第一病院との連携についてお答えいたします。

小倉第一病院は、透析を中心とした医療機関でございます、小児科や児童精神科等はないと把握しております。

連携ということでは、東芝北九州工場跡地の利用コンセプトに基づく多様性、共有、共存といったようなテーマを踏まえまして、病院との交流という形で、教育用語では交流及び共同学習と言っておりますけれども、実施させていただく予定です。コロナ禍前の2校では、作業学習で制作しました成果品、具体的には、陶芸の作品や木工の作品、栽培した野菜等ありますけれども、これを販売する活動を行ってました。北九州中央高等学園では、パンを焼いて飲み物と一緒に地域の方にカフェという形で提供する場もございます。

こういったようなところで、病院の方と連携、また、出向いていく形としましては北九州中央高等学園と小倉北特別支援学校が、清掃活動、地域のごみ拾い、そういったようなところを率先して、地域と繋がるような形で教育活動を展開しております。そういった意味では東芝北九州工場跡地の同じゾーンとして、より密接な連携を図ることができればと、考えているところでございます。

////////////////////////////////////

それではご意見をいただきましたので、ここで皆様の意思確認をしていきたいと思っております。

構成員の皆様の一つ、確認しておきたいと思っております。基本的に、当該事業をこの計画で進めていくことに対して、ご異議、ご意見等はございませんでしょうか。

(異議なし)

異議なしということでよろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは、当該事業については、この計画どおり継続していくことを前提としたうえで、検討会議としての意見を整理しておきたいと思っております。

////////////////////////////////////

1点目はwith コロナ禍の施設運営ですね、その際には配慮が必要な生徒に気配りを十分お願いしたいということです。

2点目は事業コストですが、現在拝見する限りは少し圧縮されているので非常によろしいかなと思っておりますが、今後もそういった資材、人件費等の高騰を見据えた上でもさらにその費用の圧縮についてご尽力をお願いしたいということでございます。

3点目としては、この実施計画に際しましては、デザイン等の生徒の動線等も配慮しながら、そのデザインの発注に工夫を凝らしていただければということでございます。

それから4点目に、引き続き県との関係でやはり財政的な負担については県にその要望を、継続的にお願いしていただければというふうに思いますのでご努力の方よろしくお願ひしたいと思います。

まず総括的にはもう施設の老朽化は非常に大きいということと、それから両学校につきましては、教育効果向上が期待できるということでもうこれに尽きるかと思ひますので、ぜひこの事業を進めていただければというふうに思ひます。

以上、4点について、このような意見を公共事業評価に関する検討会議の意見としたいと思ひますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございました。

それでは具体的な記載内容につきましては、座長である私がお預かりしまして事務局と調整させていただきます。よろしいですかね。

(異議なし)

はい。それから、本日の会議資料に議事録については後日、市のホームページに掲載することになりますが、議事録については私が事務局と調整させていただきたいと思ひます。

それでは今後の予定につきまして事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

ただいま構成員の皆様のご了解をご了承いただきましたとおり、小倉北特別支援学校等整備事業につきましては、現計画のとおり事業を継続させていただきたいと思ひます。

今後の予定といたしましては、本日の検討会議の意見を踏まえまして、市が対応方針案を作成し、パブリックコメントの手続きに入らせていただきたいと思います。以上でございます。

○座長

ありがとうございました。

それではこれで本件の検討会議を終了したいと思ひます。皆さん、大変、お疲れ様でした。